



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.04.27

No. 29 - 38

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office@alpajapan.org

### 日乗連方針に反する

## JALI・J 提案の「FE の将来問題の対応」に対し、 当面、日乗連も JAL グループ全航空機関士に

### 「パイロット職変」の道を開く事を目指す！

～パイロット職変の条件整備は、早急な交渉と誠意ある会社姿勢が不可欠～

日乗連は、今期(29期)のFE委員会活動方針「航空機関士の処遇について、職変訓練のフォローは基より新たな職域の確保も視野に入れ、全運航乗務員の課題として解決するよう取組む」に基づいて取組んでいます。その様な中、日本航空で突然05年11月7日に対外発表された「JALグループ再生ビジョン」で[在来747の2009年度末全機退役]が発表され、2006年2月7日には「航空機関士の将来問題の対応について」という会社提案が出されました。その内容は、FEとして残る者は日本人FEに余剰が発生した時点でセニヨリティの低い順に「原則地上職への職変」「その後は地上職の賃金、身分」となっており、「パイロット職変」も提示されているものの、JALJからJALIに出向している航空機関士ならびにJALIのE100期以降をその対象から除外しています。また、パイロット職変希望者には年齢、過去の訓練内容(経歴)で大幅な募集制限を設けたものとなっており、JALI、JALJの会社提案は日乗連方針に反するもので認められるものではありません。

一方、全日空のFEは、在来747の乗務を2009年までNCAで継続しつつ、地上業務を兼務する協定を労使で結び、その前提は「定年まで運航乗務職掌」であり、全ての航空機関士は定年まで身分・賃金が保障されています。

JALIでは、パイロット職変希望者の募集を「2006年度上期から始めたい」と発言しており、早急な取り組みが必要です。JALI三乗組は「三乗組方針」(\*パイロット職変に関する制限撤廃。\*E100期以降も含めた希望者全員が安心して職変に応じられるよう取組む)を決定しており、当面、日乗連もJALI・JALJの全航空機関士にパイロット職変の道を開く事を目指すとともに、今後も航空機関士の処遇について全運航乗務員の課題として解決するように取組む事を改めて確認しました。

今後、JALI三乗組、JALJ乗組、JALJ労組FE分会の交渉経緯を注視しつつ、産別組織として日乗連で出来るあらゆる取り組みを模索し、関係組合とともに活動していきます。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します！！

